

第2学年 人権学習 指導案

1. 題材 「ハンセン病に関する差別」

2. テーマ設定の理由

○題材観

ハンセン病にかかったというだけで、社会での生活を断ちきられ、肉親との絆を失い、ふるさとを奪われ、終生隔離されるという残酷な制度、すなわち、ハンセン病患者に対する過酷な人権侵害が、「らい予防法」という法の名の下に、わが国では1996年の「らい予防法」廃止まで90年間も続けられてきた。この誤りを生んだ原因について考え、今も残るハンセン病元患者への偏見や差別の現実を知り、身のまわりにある人権侵害や差別の現実と切り結んで考えさせたい。かつて、この問題はマスコミでも大きく取り上げられたが、人権教育のテーマとして取り上げている学校は少ないと思われる。生徒の正しい知識や理解を深めることが差別をなくす第一歩になることを望むものである。

○指導観

教材NHKスペシャル番組「隔離はこうして続けられた」は、ハンセン病について予備知識のない生徒にとって、ただ視聴するだけでは理解しがたいと思われるので、パワーポイントで番組の要点をふり返り説明することで、生徒のハンセン病に関する理解を深めたい。また、生徒同士が互いに意見や感想を述べ合うことで、より一層、考えが深められると思われる。

3. 目標

- ① 誤った国の政策によって、ハンセン病患者の人々が長い間多くの偏見や差別に苦しんできたという事実、その背景には、私たちの無知や無関心があるということを知り、ハンセン病に関しての正しい知識と理解をもつ。
- ② 現在も残るハンセン病の元患者に対する偏見や差別の実態を知り、私たち一人ひとりが「日本国憲法」で保障された人権を守り、人権意識を高めていくことの大切さを学ぶ。

4. 指導計画・・・単元の配当時間（2年次）

2時間

- ① NHKスペシャル「隔離はこうして続けられた」のビデオ視聴・・・・・・ 1時間
- ② NHKスペシャルの番組が提起する問題のまとめ・・・・・・・・・・・・ 1時間（本時）

5. 指導上の留意点

- ① ビデオの内容が生徒に理解できているかどうか確認しながら展開する。
- ② ハンセン病に対する正しい認識が深められるよう、事実に基づき説明する。

6. 教材 生徒：資料プリント

教師：パワーポイント、資料プリント

